



本宮第二中学校 待望の体育館が間もなく完成

東日本大震災で半壊し、新築復旧工事を進めてきた本宮第二中学校の体育館が、2月20日に完成し、2月21日には体育館の引渡式が行われます。

同校では震災以降、体育の授業や部活動は地区公民館の体育館を利用するなど不便な学習環境となっていました。新体育館の完成により、授業などが震災前と同じようにできるようになります。

◆問い合わせ先
教育総務課 ☎33-1111
(内線242)

【市からのお願い】広報もとみや号外は、地震災害、放射能問題など市民の皆さんに広く周知するものについてお知らせしています。閲覧される場合は、なるべく早く次の方に回覧していただきますようお願いいたします。

「本宮復興の集いNo.13」事業内容の協議が行われました

■3月10日と11日に開催

1月30日に市役所で、「本宮市復興の集い2013」の第4回実行委員会(実行委員長・小沼貞彦商工会長)が開催され、事業内容について協議が行われました。

同委員会では、昨年12月から、復興の集いの内容について協議を進めてきました。会議では、3月10日に白沢公民館でオープニングセレモ



▲3月10日、しらすわカルチャーセンターで復興祈念コンサートを開催する上松美香さん(円内は木下尊樟さん)



▲3月11日、サンライズもとみやで癒しのコンサートを開催する橋本妙子さん

ニーを開催するほか、地域の食材を使った料理による食の交流事業などを開催することとなりました。また同日、しらすわカルチャーセンターでは、世界で活躍するアルパ奏者の上松美香さんとギター&チャランゴ*奏者の木下尊樟(たかあつ)さんによる復興祈念コンサートを開催することとなりました。

さらに、東日本大震災から3年目を迎える3月11日には、サンライズもとみやで復興式典が開催され、復興への歩みをスライド上映するほか、郡山市出身のオペラ歌手、橋本妙子さんによる癒しのコンサートなどを開催することとなりました。

詳しくは、広報もとみや3月号または2月中に配布を予定しているチラシなどでお知らせしますので、多くの皆さんのご参加をお待ちしています。

◆問い合わせ先
政策推進課 ☎33-1111
(内線214)

*チャランゴは、南米の民族音楽フォルクローレに使われる弦楽器です

東京電力福島復興本社代表に要求書提出

迅速な損害賠償と市民の安全確保対策を求め



▲福島復興本社石崎代表に要求書を手渡す高松市長。

高松市長は、1月22日に本市役所を訪れた東京電力代表執行役副社長で福島復興本社の石崎芳行代表に「速やかな賠償と市民の安全確保に関する全ての対策の実施」を求める要求書を手渡しました。福島復興本社は、今年1月1日に東京電力が檜葉町のJビレッジ内に設立したもので、県内全ての事業所を統括し、賠償、除染、復興推進などを一元的に意思決定し速やかに

対応するとしています。

要望書を受け取った石崎代表は「東電グループあげて、できることは何でもやる。まだまだ足りないところはあってもいいが、福島のためにしつかりやっていきたい」と語りました。

高松市長は「県内は広いので、地域で抱える悩みは違う。地域に密着して、柔軟にしっかりと対応いただきたい」と石崎代表に伝えました。

本宮市から福島復興本社への要求項目

- ① 原子力災害に伴う行政経費に係る損害賠償の速やかな実施について
- ② 事前除染を含む個人除染費用の補償について
- ③ 除染推進に対する支援協力について
- ④ 生涯にわたる健康管理と発症対応について
- ⑤ 全ての産業に係る風評被害を含めた速やかな損害賠償について
- ⑥ 福島第一原子力発電所の確実な安全対策について

※市のホームページ・トピックスから要求書の全文をご覧いただくことができます。

◆問い合わせ先

秘書広報課 ☎ 33-11111 (内線221)

根本復興相に要望書提出



▲根本復興相(右)に要望書を手渡す高松市長

高松市長は、2月1日に根本復興相を訪ね、東日本大震災からの復興を進めるうえで必要な財政的支援などを求めた要望書を提出しました。

◆問い合わせ先

秘書広報課 ☎ 33-11111 (内線221)

小中学生スキー体験を体験

小中学校の児童・生徒を対象としたスキー体験教室が行われました。

これは震災以降、外で遊ぶ機会が減っていることから、冬場の体力向上を目指して開催したものです。

小学1年生から中学2年生までの児童・生徒が、この体験教室に参加し、インストラ

和田地区住宅除染の進捗状況

約38パーセントの除染完了

和田地区における住宅除染の1月末時点での進捗状況は、除染予定戸数の503件に対して、作業完了が192件で38・17%となっています。また、作業中のものを含めた進捗率は227件で45・13%となっています。

◆問い合わせ先

放射能除染・モニタリングセンター ☎ 63-2682



▲1月29日、岩根小のスキー体験の様子

クターの指導のもと、小学2年生はソリ体験、小学3年生から中学2年生までがスキーを体験しました。

平成24年度		平成23年度		期間
9月～11月	6月～8月	12月～2月	9月～11月	
0.23	0.27	0.34	0.42	3カ月平均
0.95	1.14	1.31	1.61	最大値
検出限界以下	検出限界以下	検出限界以下	検出限界以下	最小値

▲単位：ミリシーベルト

▼これまでの結果について
 ガラスバッジによる線量の測定を行った平成23年9月から平成24年11月まで、3カ月ごとの平均値を比較すると次のようになりました。

▼2回目 9月～11月 測定結果について
 ガラスバッジ回収人数は、4343人で、最小値は検出限界値(0.05ミリシーベルト)未満、最大値は0.95ミリシーベルト、全体の平均値は3カ月で0.23ミリシーベルトでした。

昨年引き続き、平成24年6月から、中学生以下の子どもと妊婦の皆さんがガラスバッジを着用し、積算線量を測定していますが、2回目(9月・10月・11月)の測定結果がまとまりましたのでお知らせします。

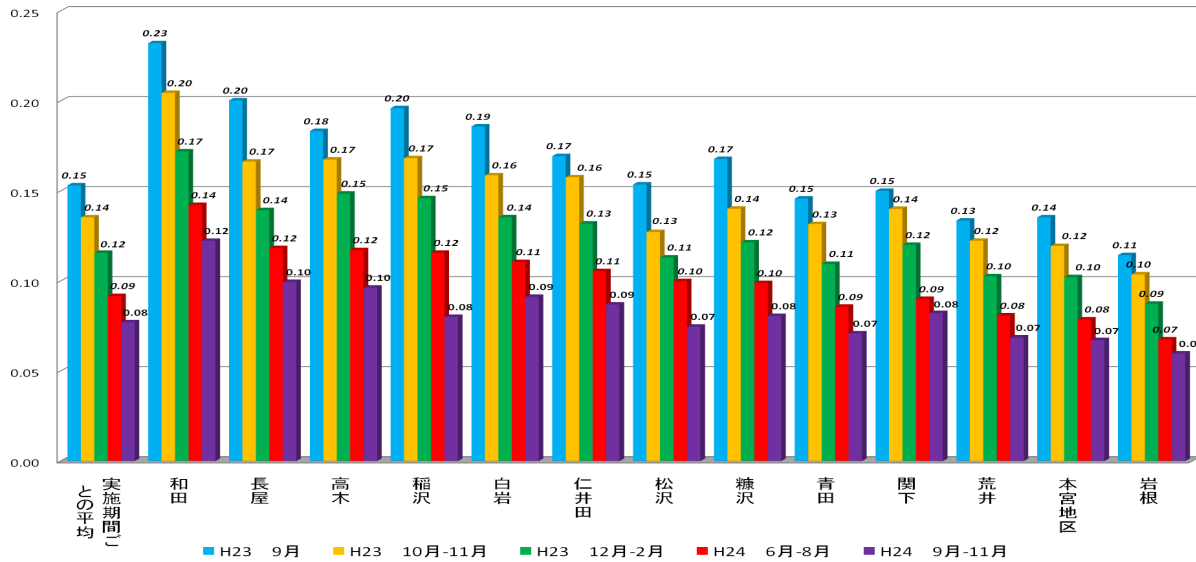


中学生以下の子どもと妊婦の皆さん

ガラスバッジによる外部被ばく検査結果

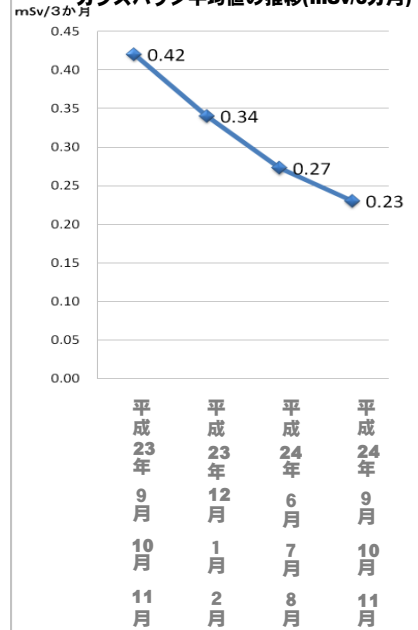
ガラスバッジ測定結果 地域ごとの平均値の推移 (mSv/1カ月)

測定値 (mSv/1カ月)



野口邦和先生のアドバイス！
 これまでの結果について、本宮市放射線健康リスクアドバイザー野口邦和先生のアドバイスは次のとおりです。
 地域ごとの平均値をみると、平成23年9月開始の調査を開始して、概ね11月まで、平成24年9月からは、55パーセント(範囲41～55パーセント)にまで低減しています。
 全体の平均値も同様で、わずか1年ほどの間に半分以下に低減しており、安心できる測定結果だと思われま

ガラスバッジ平均値の推移(mSv/3カ月)



野口先生のアドバイス！

今後の予定について

現在3回目(12月から2月)の測定を実施しています。2月27日・28日に3回目のバッジの回収を予定しています。回収日に遅れると正しい結果の測定ができない場合がありますのでご注意ください。
 また、ガラスバッジの使用方法について次の点に注意し、正確な測定ができるようにご協力をお願いします。

- 通園、通学なども含め、外出時には持ち歩くようにしましょう(身につけることができない場合はカバンなどに入れておいても問題ありません。)
- 自宅では、窓際につるしたままにするなどといった保管方法は避け、なるべく使用者の近くに置いておきましょう。

◆問い合わせ先

保健課(えぼか内)健康増進係

☎63-2780

農産物のモニタリング状況について

本宮、白沢、荒井の3カ所で行っている農産物の放射性物質の検査結果をお知らせします。

◆問い合わせ先 放射能除染・モニタリングセンター

☎ 63-2682

■市内産自家用農産物持込み上位30品目 【平成24年12月～1月】

	品名	件数	検出された農林水産物の内訳		
			検出数	セシウムの最小値	セシウムの最大値
1	白菜	45	2	10.41	22.09
2	干柿	40	31	11.23	160.94
3	大根	36	2	11.30	15.40
4	青大豆	34	22	10.75	193.52
5	キウイフルーツ	19	16	12.98	153.96
6	小豆	17	7	10.82	39.20
7	大豆	14	12	10.86	48.80
8	ユズ	13	11	30.70	203.30
9	ネギ	13	1	16.86	16.86
10	黒大豆	12	6	14.21	129.14
11	豆	12	9	10.65	137.21
12	大豆（青豆）	11	8	12.78	235.79
13	白大豆	11	5	15.85	139.14
14	柿	7	4	13.00	27.95
15	ジャガイモ	6	0	0.00	—
16	春菊	6	2	22.70	23.20
17	ほうれん草	6	0	0.00	—
18	大豆（黒豆）	6	5	11.46	125.40
19	カリン	5	3	10.30	76.50
20	切干大根	5	1	17.87	17.87
21	青エンドウ	4	2	14.39	16.22
22	人参	4	0	0.00	—
23	キャベツ	4	0	0.00	—
24	大豆（白豆）	3	3	11.15	58.80
25	リンゴ	3	0	0.00	—
26	ヤーコン	3	0	0.00	—
27	小松菜	3	0	0.00	—
28	エゴマ	2	2	24.74	84.13
29	キノコ（シイタケ）	2	2	19.35	56.29
30	インゲン豆	2	0	0.00	—
	計	348	156		

農業用被覆資材等の取り扱いについて

農業用被覆資材（ベタがけ資材、トンネルビニール、マルチなど）の保管状態や土の付着により、農産物等への放射性物質の移行の恐れがあるため、購入した新しい資材でも、使用していない時はビニール袋に入れるかシートで覆い、土ほりなどが付着しないよう屋内で保管する。

- ① 原発事故以降に購入した新しい農業用被覆資材等でも、使用していない時はビニール袋に入れるかシートで覆い、土ほりなどが付着しないよう屋内で保管する。
- ② 原発事故時に使用していた農業用被覆資材等で、処分できずに一時保管しているものは再利用しない。



▲マルチの使用にご注意を

■問い合わせ先

農政課

☎ 33-

1111 (内線156)

水道水のモニタリング検査結果について

市の水道水については、週3回（月、火、金）検査を行っており、放射性物質は検出されていませんので安心してご利用ください。

◆問い合わせ先

上下水道課

☎ 33-1111 (内線119)

井戸水のモニタリング検査結果について

飲用の井戸水の測定依頼があった場合は、専門機関へ依頼し、測定を実施していますが、現在まで放射性物質は検出されていません。

なお、検査にかかる費用は無料となっています。

◆問い合わせ先

放射能除染・モニタリングセンター

☎ 63-2682